

< 用語集 >

01. 2WAYトラベル

フロント側(手前側)・リア側(奥側)にもドロワーメンバー(移動側)を移動させることができるタイプのスライドレールで、両トラベルとも言います。

02. 2メンバースライドレール

アウターメンバー・インナーメンバーの二つのメンバーで構成されているスライドレールです。

03. 3/4トラベル

スライド全長に対しその3/4の距離を引き出せるスライドレールです。

04. 3メンバースライドレール

キャビネットメンバー(固定側)・中間メンバー・ドロワーメンバー(移動側)の三つのメンバーで構成されているスライドレールです。

05. アウターメンバー

スライドレールを構成するメンバーのうち、断面がC字形をしたメンバーです。主に、固定側で使用されます。

06. アクュマウント

モデルC301・C501で、引き出しを取り付ける側(ドロワーメンバー)にスポット溶接されている断面がL型のブラケットのことを言います。組立工数の低減に役立つパーツです。

07. アクセスホール

たとえば3メンバースライドレールでスライドをネジ止めする際に使用する中間メンバーに設けられた工具穴のことを言います。

08. アプリケーション

スライドレールの使われ方(スライドレールを使用する応用方法)で機器類のスライドレール取付部の名称及びその総称のことを言います。

09. アンハンデッド

スライドレールで左右共通で使用できるもののことで、たとえばラッチ等の操作が左右共通となっているものを言います。

10. インターロック

複数段の引出しを持つ家具等で、一つの引出しを引き出した状態で、他の引出しが出てこないようになっている機構のことです。

地震の揺れで、キャビネット等の複数の引出しが同時に前に飛び出して、キャビネットが手前に転倒しないようになっている機構です。

1 1. インナーメンバー

スライドレールを構成するメンバーのうち、スライド断面でアウターメンバーの内側に位置しアウターメンバーより小さめで、主に移動側で使用される部材です。

1 2. ガードフィンガー

スライドレールのアウターメンバーとインナーメンバーの隙間に指などを挟んでしまうのを防止するパーツです。

機器の取扱い時、指先などを危険から守る目的のパーツで主に樹脂製です。

1 3. ガイドボール

モデルC305A・C307A・C203・C204タイプ等で、ドロワーメンバーを挿入する際に、ガイドとなるパーツのことを言います。

1 4. キャッチ

スライドレールを全閉した時に、その状態を簡易的に保持(閉じたままにしておく)する保持パーツのことを言います。

1 5. キャビネットメンバー

スライドレールを取り付けるときに、固定側となるメンバーのことです。対して移動側となる方は、ドロワーメンバーと言います。

1 6. サイドスペース

スライドレールが取付けられる左右或いは上下のスペースのことです。スライドレールの幅がスペースにぴったり収まり、且つスペースが小さければ引出し等の幅を大きくできます。

1 7. シーケンシャル機構

3メンバーのスライドで全開する時には、中間メンバー → ドロワーメンバー、全閉する時には、ドロワーメンバー → 中間メンバーと順序よく開閉する機構です。

モデルにより全開時のみしか機能しないものもあります。

一般的にはシーケンシャル機構の付いたスライドレールは、付いていないものに比べ耐荷重や耐久性がアップします。

1 8. スティフナー(補強板)

スライドレールを構成するインナーメンバーの内側にスポット溶接されるコの字形の部材でIMを補強する役割があります。スライドレールの強度アップの目的に使用されます。

1 9. ストップタイプ

スライドを全開した時に、その位置でストップするだけでそこから引出し等を引き抜くことのできないタイプです。

また全開状態で保持(ロック)されないので引出し部を押すと抵抗なく収納されます。

2 0. セルフクロージング

引出しを収納する時、最後まで押し込まなくても途中から自動的に引き込まれ全閉状態となる機構のことを言います。

2 1. ディスコネクトレバー

フロントディスコネクト(引出し部を手前に引き抜く)タイプは、レバー操作により引出し部を本体から引き抜くことが出来るのですが、そのレバーのことを言います。

2 2. ディテント機構

スライドを全開したとき、あるいは全閉したときに簡易的に保持する機構です。全開時をディテントアウト、全閉時をディテントインと言います。

2 3. トラベル

スライドを最大にのばした時の移動距離のことです。

イコールトラベル、オーバートラベル、アンダートラベル、フロント/リアトラベル(両トラベル: 2ウェイトラベル)の4通りがあります。

2 4. ドロワーメンバー

スライドを取り付けるときに、移動側となるメンバーです。対して固定側となる方は、キャビネットメンバーと言います。

2 5. ドロワーレール

モデルC 3 3 7・C 2 6 3 2・C 7 4 3 2で、引出しを容易に取付・取り外しが出来る様に引出し等ユニット側へ取付けるL型又はZ型の断面のスライドよりやや短尺のパーツです。

2 6. フリッパー(ドア)

スチール家具等の上開き扉のことで、通常スライドレール先端部の水平・垂直方向の回転移動出来るヒンジ等で取り付けられています。

扉の収納時や開放時に水平・垂直方向の回転移動を与え収納可能としたものです。

2 7. フリップロック

スライドを全開・全閉、全開途中・全閉途中で、ロックする機構です。フロント部のロッドで操作し解除します。

2 8. フルトラベル(フルエクステンション)

スライドレールの全長以上のトラベルを引き出せることを言います。

2 9. ブレーキストップ

スライドレールを全開した時に、摩擦抵抗により最長トラベル位置でストップする機能のことを言います。その位置から、さらに強く引き抜くと引き抜けます。

3 0. プログレッシブムーブメント

モデルC 4 3 7・C 7 4 3 2等のモデルで、ゴム(樹脂)ローラーを中心にしてキャビネットメンバーとドロワーメンバーが同時に動き、引き出し動作途中のショックがないスムーズな動きを得られる機構のことを言います。

3 1. フロントディスコネクト

ドロワーメンバー・インナーメンバーをフロント側に引き抜きできるタイプのことを言います。このタイプには下記の2種類があります。

・フロントディスクネクト・ロックタイプ

スライドを全開した時に、完全にロックされスプリング・レバー・ラッチ等を操作する事により解除され、引き抜けるタイプ。

・フロントディスクネクト・ブレーキストップタイプ

スライドを全開した時に、ブレーキストップ（フリクションストップ：摩擦抵抗）し、さらに強く引き抜くと引き抜けるタイプ。

3 2. ペア(組)

スライドレールの本数の単位です。

左右の形状が右用・左用とある場合それらを一つの袋に梱包し1ペア(1組)と言います。

また、左右共通のスライドレールや右用・左用を別々に数える場合は、1本・2本・・・で表す場合が多いです。

3 3. ホールドインスプリング

モデルC 2 0 3・C 2 0 3ロック付き・C 2 0 4・C 2 0 4ロック付き等のタイプで、全閉時に簡易にインナーメンバーを保持できるパーツことを言います。

3 4. マウンティングブラケット

引出し取付用のブラケットのことです。主にL型になっています。(参考：アキュマウント)

3 5. ランダムシンクロナイズド(RS)システム

ボールリテナーとインナーメンバーがベルトを介して動くので、2：1の正確な動きを得られ、ボールリテナーとインナーメンバーの動きのズレが発生しない機構です。

主にスライドレールを垂直使用したり、モータードライブで使用される場合にお勧めします。

3 6. リアロックラッチ

3メンバースライドレールのモデル3 0 5やモデル3 3 0 7で、全開時フロント部のロックに対して中間メンバーのリア一部のロックラッチのことを言います。

このリアロックラッチがあることで3メンバースライドレールが、全開時にその状態を確実に保持することが出来ます。

3 7. リードインガイド

3 3 0 7等で引き抜いたドロワーメンバーを再度挿入する時にガイドとなるパーツです。

3 8. リニアーマカニズム

モデル1 1 5・RS 1 1 5・2 7 1 5・2 4 1 5の様にインナーメンバーが常にボールリテナーのなかで移動するため、正確な往復(直線)運動を得ることが出来る機構のことです。

3 9. ロックアウト

スライド全開時に、全開状態でロックされることを言います。

モデル3 0 5 A・3 0 7 A・3 6 1 7・3 0 1 フリップロック等がこれに該当します。

4 0. ロッククリップ

スライドとドロワーレールの固定及び取り外しを行うためのパーツです。

容易に引出しの取付・取り外しができます。モデル3 3 7・3 0 0 5に使用されています。

4 1. ロックタイプ

スライドを全開した時に、全開した状態で保持されるスライドレールのタイプです。
ラッチやレバー等进行操作し解除して全閉できます。ストップタイプとの違いに注意して下さい。

4 2. 消音ストップタイプ

消音機構のことです。

スライドレールは金属製ですので全開時や全閉時に金属と金属がぶつかり大きな金属音がする場合があります。

それを防ぐ為にスライドレールの金属部に消音の為にパーツを装着しているタイプです。

パーツにはフェルト・バンパー・ゴムクッション等があります。

4 3. 取付ピッチE I A用

ラック等にスライドを取り付ける際の高さピッチの規格となる寸法です。 E I A (米国電子工業界)の規格で、15.9 - 15.9 - 12.7 (mm)の繰り返しのユニバーサルピッチに対応しています。

4 4. 取付ピッチJ I S

ラック等にスライドを取り付ける際の高さピッチの規格となる寸法です。J I S (日本工業規格)の規格で、25 (mm)の繰り返しピッチに対応しています。

4 5. 中間メンバー

3メンバースライドで、キャビネットメンバーとドロワーメンバーの間にあるメンバーのことです。

4 6. 定格荷重

トラベル及び取付幅 (300 mm) の中央における静荷重値を表しています。

スライドレールの耐荷重や耐久性は取付状況や環境によって大きく変動しますので、カタログ等に記載されている定格荷重はあくまで目安としてとらえて下さい。